

科目番号	52020	分類	助産管理学	履修者	高度実践助産コース	学年	1	
科目名	助産管理学特論 (Advanced Midwifery Management)						1	30
							配当セスター 前期	
担当者	○橋本 美幸、宮崎 文子 平出美栄子、筒井 志保	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	2	時間数	
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 組織と管理における基本概念とそのプロセスを学び、マネージメントの基本的考え方をドラッカー理論から概説し施設助産管理への応用を試みる。また、医療経済、関連法規および周産期医療システムを学び、これからの助産管理のあり方を考察する。 【目標】 1. 組織と管理の基本概念の変遷を学び施設への助産管理の応用を理解する。 2. マネージメントの基本的考え方（ドラッカー理論から概説）を理解する。 3. 助産管理目標を7つの分野（マーケティング、イノベーション、生産性、経営資源、利益、社会貢献、人材育成）から考え効果的な助産管理を考える。 4. 助産管理の過程と助産管理の進め方（目標管理）について学ぶ。 5. 助産所の管理運営（医療法・保助看法、安全性）について理解する。 6. 総合病院での助産管理運営（周産期医療システム、助産師外来・院内助産）について理解する。						○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力 2.院内・院外助産システムを担うことができる能力 3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力 4.周産期の救急時に対応できる能力 5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力 6.研究・開発能力 7.倫理的意思決定能力	
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
1回	助産管理学特論のガイダンス 組織と管理の基本概念の変遷と施設助産管理への応用						宮崎	
2回	マネージメントの基本的考え方（ドラッカー理論）の概説						宮崎	
3回	マーケティング理論概説						宮崎	
4回	マーケティングとイノベーションの助産管理への導入法を考える。						宮崎	
5回	助産管理過程と助産管理（目標管理）の進め方						橋本	
6回	院内助産システム（勤務体制、勤務形態、医師との連携、担当助産師の資格要件） へ向けてのイノベーション（妊産婦満足のために）：デスクッション						橋本	
7回	分娩室の目標管理を考える（助産所実習時にレポートして提出）						平出	
8回	助産所の管理運営（医療法、安全性）						平出	
9回	助産所の分べん減少について考える						平出	
10回	助産所の助産業務管理（保助看法）						橋本	
11回	総合病院での助産管理運営：助産管理と周産期医療システム						筒井	
12回	総合病院での助産師外来・院内助産の実際について						筒井	
13回	院内助産を開業のための準備についての演習						橋本	
14回	助産院を開業のための準備についての演習						平出	
15回	分娩場所選択に当たっての決定要因について ディスカッション						橋本	
事前・事後学習	事前学習：各回の必須図書で該当する部分を読んでくる。 事後学習：配布資料を復習する。また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。							
評価の方法	筆記試験 70%、レポート 30% フィードバックは適宜行う。							
参考図書 ・資料等	◎助産学講座 10 助産管理 我部山キヨ子 第5版 医学書院 2016年 ◎新版 助産師業務要覧 実践編 第2版；福井トシ子編、日本看護協会出版会、2012 ◎初めて学ぶマーケティング—現代のマーケティング戦略—薄井和夫著、大月書店、2003 ◎助産業務ガイドライン 2014；日本助産師会出版 ・授業の都度配布 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							